

次の問題と解答・解説を見て、校正してください。内容に加えて、体裁面をふくめすべての面で間違いを見つけ、訂正の指示を入れてください。

1 次の 部の漢字を書きなさい。

- 1 メンバーの間に軋轢が生じる。 「 」
- 2 日差しにカーテンで遮る。 「 」

2 次の 部のかたかなを漢字で書きなさい。

- 1 品質をホシヨウする。 「 」
- 2 看護師がカンジャに話しかける。 「 」

2 次の文中の にあてはまる適切な敬語表現を書きなさい。

・私は、先生に「いつ家庭訪問に のですか」と言うべきところを、「いつ家庭訪問にくるの」と言っ、注意されました。

4 次の俳句を読んで、あとの問いに答えなさい。

鶴舞ふや日は金色の雲を得て (杉田久女)

問一 季語を抜き出し、季節を答えなさい。

「季語… 季節…」

問二 切れ字を抜き出して答えなさい。

5 「ほんのわずかであること」という意味を持つ慣用句を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 鯉の滝登り
- イ 雀の涙
- ウ 猫に小判
- エ 鶴の一声

6 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

すべて、蜂は短小の虫なれども、仁智の心ありといへり。されば、京極太政大臣宗輔公は、蜂をいくらともなく飼ひたまひて、「なに丸」「か丸」と名を付けて、呼びたまひければ、召しにしたがひて、恪勤者などを勘当したまひけるには、「なに丸、某刺して来。」とのたまひければ、そのままにぞ振る舞ひける。

(「十訓抄」より)

(注)すべて：一般に。 仁智の：温かく賢い

いくらともなく：たくさん。 恪勤者：大臣家などに仕えた侍。

勘当：こらしめること。

問一 線部「したがひ」の主語として最も適切なものを、次のア～イから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 蜂
- イ 恪勤者
- ウ 某
- エ 宗輔公

問二 線部「そのままにぞ振る舞ひける」とは、どういうこととか。その説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 宗輔公の飼っていた蜂が、宗輔公に仕えていた侍の悪事を発見し、その侍を刺したということ。

イ 宗輔公に仕えていた侍が、宗輔公の飼っていた蜂の悪事を発見し、その蜂を処罰したということ。

ウ 宗輔公の飼っていた蜂が、宗輔公の命令の従わず、罪を犯した侍を刺さなかったということ。

エ 宗輔公に呼び出された蜂が、宗輔公の命令に従って、宗輔公に仕えていた侍を刺したということ。

解答・解説

1 あつれき 2 さえぎ

2 保障 2 患者

3 (例)いらつしやる

4 問一 季語…鶴 季節…冬

問二 や

イ

6 問一 ア

解説

1 ① 「軋轢」^{あつれき}とは、仲が悪くなること。

2 間違えやすい音読みなので注意する。「遮」を使った熟語には、「遮断」「遮光」などがある。

2 1 「保障」は、間違いがない、大丈夫であると認めること。

同音異義語の「保証」はある状態が損なわれないように保護すること。「補償」は損失を補って償うこと。ここでは文脈上、「保証」が正しい。

2 「患者」の「患」は、訓読みで「患う」⇨「わずらう」と読む。

4 校長先生への敬意を表す尊敬語にする。「来る」の尊敬語に、尊敬動詞の「いらつしやる」を答える。「お(ご)くになる」の形である「おいでになる」や、尊敬の助動詞「られる」を用いた「来られる」がある。「お越しになる」も正しい。「来る」の

謙讓語の「参る」にしないように注意する。

4 問一 季語と季節のセットを聞く問題は頻出。有名な季語は覚えておこう。

◆季語の例

梅、雪解け、うぐいす	春	花火、浴衣、夕立、七夕	夏	柿、紅葉	秋	霜柱、雪、	冬
------------	---	-------------	---	------	---	-------	---

5 アは立身出世をすることのたとえ。ウは値打ちがわからないことのたとえ。エは、権力者や有力者のひとこと。

6 問一 「召し」とは、身分の高い者が誰かを呼びつけること。

この文章で身分の高い人物は宗輔公である。よって、エは不適切。エの某はイの恪勤者^{かくごしや}と同じであるが、召しに「したが」ったものから勘当された対象であるので、不適切。よって、正解はアの蜂である。

問二 「そのままにぞ振るまひける」とは、宗輔公の命令に従わず、何もしなかったという意味です。